

# 広野町

# 土砂災害

# ハザードマップ



平成 26 年 7 月 9 日発生 長野県南木曾町土砂災害の様子 写真提供：株式会社パスコ



大切な家族を守る為に  
お役立てください

## 土砂災害ハザードマップとは

近年、局地的な集中豪雨などにより、全国各地で相次いでいる土砂災害。我が国は土砂災害が発生しやすい自然条件が揃っています。土砂災害から身を守るためには、私たち一人ひとりが土砂災害に対して日頃から備えておくことが重要です。災害はいつでも発生するかわかりません。被害を最小限に抑えるためにも、このマップをご活用ください。

広野町 平成27年3月発行

# 土砂災害を知ろう!!

土砂災害とは、地震や大雨などにより、山やがけが崩れたり、水と混じり合った土や石が川から流れ出たりするなど、すさまじい破壊力をもつ土砂が、一瞬にして多くの人命や住宅などの財産を奪ってしまう恐ろしい災害です。命を守るために知っていただきたい事をお知らせします。

## 土砂災害警戒区域・土砂災害特別警戒区域とは

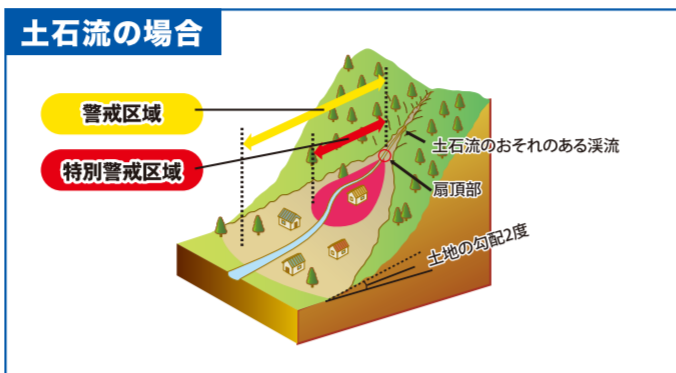
住んでいる場所が「土砂災害警戒区域」かどうか確認しましょう。

過去に発生した土砂災害の実績による指定基準を基に、都道府県では土砂災害のおそれがある区域を「土砂災害警戒区域」として指定を進めています。まずお住まいの場所が「土砂災害警戒区域」に入っているか、確認しましょう。

※役場でも確認出来ますので、お気軽にご相談下さい。

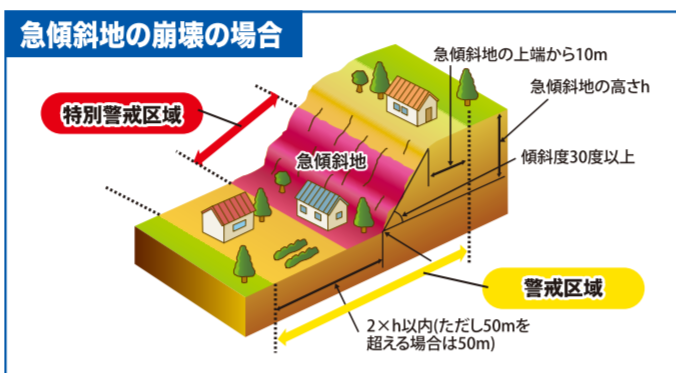
### 土砂災害警戒区域

急傾斜地崩壊や土石流が発生した場合に、町民等の生命又は身体に危害が生じるおそれがあると認められる区域。



### 土砂災害特別警戒区域

急傾斜地崩壊や土石流が発生した場合に、建築物に損壊が生じ町民等の生命又は身体に著しい危害が生じるおそれがあると認められる区域で、特定の開発行為に対する許可制や、建築物の構造規制等が行われます。



## 山地災害危険地区とは

山地災害危険地区には三つの種類があります。

種類	概要等
山腹崩壊危険地区	雨や地震などの影響により、山の斜面が崩れ落ちる危険がある地区です。宅地と裏山の距離が近い場合、小さな山崩れでも人命にかかわることがあるため注意が必要です。
地すべり危険地区	地下水などの影響により、土地の一部がすべりだす危険がある地区です。地すべり地帯では、少量の雨でも地下水が集まる場所で地面が動き出すことがあり、日ごろから兆候を見逃さないことが大切です。
崩壊土砂流出危険地区	大雨などの影響により、谷合いの不安定な土砂が水と一緒に一気に流れ出す危険がある地区です。この現象を「土石流」といい、下流に民家や公共施設が存在する場所では大きな被害をもたらす恐れがあります。

## 土砂災害について

### 土砂災害の種類と前兆現象

土砂災害とは、地震や大雨などにより、山やがけが崩れたり、水と混じり合った土や石が川から流れ出たりするなど、私たちの命や財産に被害が生じる自然の災害です。主なものに「土石流」「がけ崩れ」「地すべり」があります。

#### 土石流

土石流は川底の石や土砂が長雨や集中豪雨などによって一気に下流へと押し流されるものをいいます。

**こんな所が危険です!!**

- 谷川に大きな石がころころあるところ
- 裏山に急な谷川があるところ
- 過去に谷を流れた土石流が谷口のところに堆積してきた扇状地

#### 前兆現象

- 山鳴りがする
- 急に川の水が濁り、流木が混ざり始める
- 腐った土の匂いがする
- 降雨が続くのに川の水位が下がる
- 立木が裂ける音や石がぶつかり合う音が聞こえる

#### がけ崩れ

地中にしみ込んだ水分が土の抵抗力を弱め、大雨や地震などの影響によって急激に斜面が崩れ落ちることをいいます。

**こんな所が危険です!!**

- がけにひび割れが生じているところ
- がけの上部がせり出しているところ
- 急ながけが高いところ
- がけから水がわき出したり、がけの表面の水が流れているところ

#### 前兆現象

- がけにひび割れができる
- 小石がバラバラと落ちてくる
- がけから水が湧き出る
- 地鳴りがする
- 湧水が急に増えたり急に止まる
- 急に濁る

#### 地すべり

斜面の一部あるいは全部が地下水の影響と重力によってゆっくりと斜面下方に移動する現象のことをいいます。

**こんな所が危険です!!**

- 地面に段差や亀裂が生じているところ
- 樹木や電柱が傾いているところ

#### 前兆現象

- 地面がひび割れ・陥没する
- がけや斜面から水が噴き出す
- 井戸や沢の水が濁る
- 地鳴り・山鳴りがする
- 樹木が傾く
- 亀裂や段差が発生する

## 気象に関する情報

### 雨の強さと降り方

1時間雨量(mm)	10mm以上20mm未満	20mm以上30mm未満	30mm以上50mm未満	50mm以上80mm未満	80mm以上
予報用語	やや強い雨	強い雨	激しい雨	非常に激しい雨	猛烈な雨
災害発生状況	この程度の雨でも長く続く時は注意が必要	御溝や下水、小さな川があふれ、小規模の崖崩れが始まる	山崩れ・崖崩れが起きやすくなり危険地帯では避難の準備が必要。都市部では下水管から雨水があふれる。	都市部では地下室や地下街に雨水が流れ込む場合がある。マンホールから水が噴き出す。土石流が起こりやすい。多くの災害が発生する。	雨による大規模な災害の発生するおそれが高く、最悪な警戒が必要。

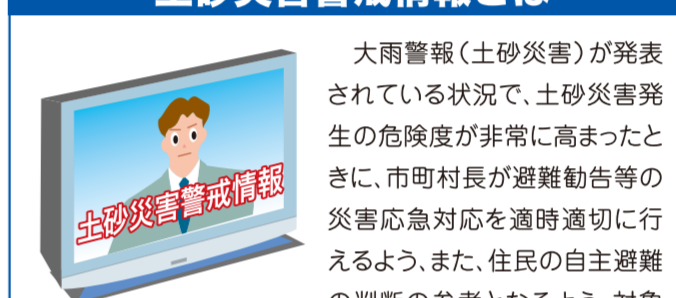
出典：「雨の強さと降り方(気象庁)」、(平成12年8月作成)、(平成14年1月一部改正)を参照

水害に備えるために、台風や大雨の際は、気象情報や洪水情報などに注意しましょう。

警戒・注意発表基準	発表の時期	発表の基準
注意報	大雨	大雨によって、災害が起こるおそれがある場合。
	洪水	洪水によって、災害が起こるおそれがある場合。
警報	大雨	大雨によって、重大な災害が起こるおそれがある場合。
	洪水	洪水によって、重大な災害が起こるおそれがある場合。
記録的短時間大雨情報		1時間雨量 100mm

【記録的短時間大雨情報】：大雨警報発令時に、現在の降雨がその地域に比べて災害の発生につながるような、稀にしか観測しない雨量であることお知らせするために発表するもの。【土壌雨量指数基準】：土壌雨量指数とは、降雨による土砂災害発生危険性を示す指標で、土壌中に貯まっている雨量の量を示す指数のことです。【流域雨量指数】：流域雨量指数とは河川の流域に降った雨の量が、どれくらい下流の流域に影響を与えるかを、これまでに降った雨(前降雨)と今後時間単位に降ると予想される雨(降水確率予測)から、流出過程と下水道の計算によって算出したものです。

## 土砂災害警戒情報とは



大雨警報(土砂災害)が発表されている状況で、土砂災害発生の危険度が非常に高まったときに、市町長が避難勧告等の災害応急対応を適時適切に行なうよう、また、住民の自主避難の判断の参考となるよう、対象となる市町村を特定して都道府県と気象庁が共同で発表する防災情報です。

## 特別警報について

気象庁は、平成25年8月30日に「特別警報」の運用を開始しました。警報の発表基準をはるかに超える豪雨や大津波等が予想され、重大な災害の危険性が著しく高まっている場合、新たに「特別警報」を発表し、最大限の警戒を呼びかけます。「特別警報」が出た場合、お住まいの地域は数十年に一度しか見られないような非常に危険な状況にあります。周囲の状況や広野町から発表される避難指示・避難勧告などの情報に留意し、ただちに命を守るための行動をとってください。

# 土砂災害に備えよう!!

## 防災情報の伝達

避難に関する情報には、次の3つがあります。発令前でも身の危険を感じたら自主的に避難するようにしましょう。

**避難準備・自主避難の目安!**

**避難準備情報**

災害時要援護者等、特に避難行動に時間を要する者が、避難行動を開始しなければならない段階です。

**これが出たら避難を開始!**

**避難勧告**

通常の避難行動ができる者が、避難行動を開始しなければならない段階です。

**危険です!今すぐ避難を!!**

**避難指示**

人的被害の発生する危険性が非常に高い又は人的被害が発生した状況です。直ちに避難行動を取りましょう。

### 災害時の情報入手先

テレビ・ラジオなどからの情報収集にも努めてください。

- 気象庁 防災気象情報 <http://www.jma.go.jp/jma/menu/menupflash.html>
- 福島県ホームページ <http://www.pref.fukushima.lg.jp/>
- 福島県河川流域総合情報システム <http://kasseninf.pref.fukushima.jp/gis/>
- 広野町ホームページ <http://www.town.hirono.fukushima.jp/>

### 災害用伝言ダイヤル「171」のかけ方

災害発生時(震度6弱以上の地震など)には、NTTの災害用伝言ダイヤルサービスが稼働します。事前契約などは一切不要ですから、家族や友人などが被災した場合の安否の確認や連絡などに活用できます。171番へダイヤルすると、ガイダンスが流れますから、それに従って伝言してください。

- 伝言の録音方法 **171** ➡ **1** ➡ 市外局番からダイヤル (XXX)XXX-XXXX ➡ 伝言を入れる
- 伝言の再生方法 **171** ➡ **2** ➡ 市外局番からダイヤル (XXX)XXX-XXXX ➡ 伝言を聞く

※災害用伝言ダイヤルサービスの開始はテレビ・ラジオなどで通知されます。

### 携帯電話 災害用伝言板サービス

震度6弱以上の地震などの大きな災害が発生した時に、携帯電話・PHSを利用して自身の安否情報を登録、家族や友人の安否情報を確認することができます。それぞれの携帯電話・PHSの「トップメニュー」から「災害用伝言板」を選択してください。

- NTTドコモ <http://dengon.docomo.ne.jp/top.cgi>
- au <http://dengon.ezweb.ne.jp/>
- ソフトバンクモバイル <http://dengon.softbank.ne.jp/>
- イー・モバイル <http://dengon.emnet.ne.jp/>
- ウィルコム <http://dengon.willcom-inc.com>

大雨などにより突発的に発生する土砂災害から身を守るためには、日ごろの備え、情報の収集、早めの避難を心がけることが大切です。

雨が降り始めたら、土砂災害警戒情報に注意して、土砂災害警戒情報が発表されたら早めに避難しましょう。



### 広野町ホームページ

『広野町の天気』『広野町アプリ』…防災行政無線・防災メールの伝達内容が確認できます。

### 防災行政無線

町内において放送している防災行政無線については、24時間分の放送内容を録音しており、いつでも次の番号に0240-28-0120

問合せすると内容をご確認できます。放送内容を確認したい場合に有効です。また、町外に避難している場合でも放送内容を聞くことができますので、ぜひご利用ください。

※本サービスは、通話料のみ有料となります。

### 広野町ソーシャルメディア 災害発生時に情報を伝えるサービス

目的・内容 情報提供の円滑化と充実化を図るとともに、町民の方にリアルタイムの情報発信していくことを目的に、情報発信します。

運用時間 原則として開庁時間内(平日の午前8時30分～午後1時15分)に、不定期に投稿します。

緊急速報メールによる防災情報 町は、災害が発生し、または発生する恐れがある場合に、町内全域のスマートフォンなどの携帯電話に「緊急速報メール(エリアメール)」を利用し、台風などによる大雨・洪水・土砂災害、大地震、津波などの自然災害や原子力発電所の事故に起因する原子力災害について、緊急避難やその他の避難準備情報を発信します。

Facebook(フェイスブック)情報発信 <https://www.facebook.com/town.hirono.fukushima>

Twitter(ツイッター)情報発信 <https://twitter.com/fukushimaHirono>

広野町アプリ

## 非常持出品

- 非常持出品は、すぐ取り出せる場所にまとめて保管しておきましょう。
- 家族構成など必要に応じて準備しましょう。乳幼児やお年寄りなどで特に必要なものがあれば付け加えておきましょう。
- 非常持出品は定期的な点検をし、保存状態や使用期限などをチェックして、必要に応じて新しいものに交換しましょう。

### 持出品(例)

持出品は大きな土砂災害の危険があつて避難する際、最初に持ち出すべきものです。

- 貴重品 現金(10円があるなど公衆電話利用に便利)、預金通帳、印鑑、免許証、保険証、権利証など
- タオル・下着・靴下など
- 非常食 カンパンや缶詰などを過量な量でも食べられるもの。缶切り、缶抜きも忘れずに
- 懐中電灯 できれば1人1つ。予備電池も用意
- 携帯ラジオ AM、FM両方が聞けるものを。予備電池も用意
- 救急医薬品・常備薬 ばんそうこう、傷薬、包帯、胃薬、持病のある方は常備薬など
- その他 ティッシュ、軍手、ロープ、マッチ、洗面用具、生理用品など

## 防災訓練の必要性

実際に災害に直面したとき、とっさに適切な行動をとるのは難しいものです。万が一の事態に遭遇しても落ち着いて適切な応急活動ができるよう、日ごろから繰り返し十分な訓練を積んでおくことが必要です。自主防災組織では、定期的に様々な訓練を行い、より多くの人に参加を呼びかけましょう。

### 地域の災害危険の把握

- ハザードマップを活用して実際に歩いてみて危険箇所等を確認する。
- 地域の避難場所の確認。指定避難所の確認や、その施設の設備を確認する。

### 災害時要援護者の把握

- 災害時要援護者の情報を把握して避難方法などを把握しておく。
- 災害時要援護者の効果的な救出・救護方法なども検討しておく。



## 避難の時の心得

避難所までの経路は災害により危険な場所がある場合もあります。落ち着いて行動するためにも、普段から家族や隣近所まで自宅から避難所までの避難経路をよく話し合っておきましょう。

### 避難所、避難経路を事前に確認しましょう

家庭や地域で話し合いながら、実際に避難経路を歩いてみましょう。避難経路に危険な場所がある場合には、避難経路を見直しましょう。

### 安全な道を通りましょう

避難するときには、側溝や水溜りに十分注意しましょう。また、長い棒などを杖代わりにして、安全を確認しながら歩きましょう。

### 動きやすい格好、2人以上での避難

動きやすい格好で避難しましょう。ひもで結ぶ運動靴がよいでしょう。2人以上での避難を心がけましょう。

### みんなで助け合って避難を

避難するときには、隣近所で声をかけ合い、お年寄りや要援護者の方、子どもを優先するようみなさんで協力しましょう。

### 速やかに避難しましょう

避難勧告などは、危険が迫った時に発生しますので、速やかに避難し、速やかに避難場所へ避難してください。避難の際には、町などの指示に従いましょう。

### 車での避難は控えましょう

車での避難は緊急車両の通行の妨げになります。また、交通渋滞を招き、浸水など動けなくなる可能性がありますので、できるだけ徒歩で避難しましょう。

## 命を守る最低限の行動

土砂災害から身を守るためには**明るいうちの早めの避難**が重要です。広野町からの避難勧告・指示がなくとも、土砂災害警戒情報の発表や前兆現象の確認など危険を感じたら、明るいうちの早めの避難を心掛けて下さい。

**危険が差し迫った状況**では、屋外への避難行動は避け、**安全確保を第一**に考えてください。

**行動例**

- 自宅や自宅近隣の頑丈な建物の2階以上へ移動(垂直避難)
- 山側の部屋にいるのであれば、山から離れた部屋へ移動(水平避難)

